

## 関東甲信越支部長活動報告

2012年1月



支部長 上浪 寛

### 支部執行部からのメッセージ

今年は6月をアーキテクト・ガーデン月間とし、関東甲信越支部の地域会、委員会、部会の活動を広く一般の人に知ってもらう仕掛けを考えています。今までのアーキテクト・ガーデンは市民に建築家の職能をわかってもらう事を目的として、1週間程度の期間に展示、セミナーを企画し、大変な労力を掛けて開催していましたが、一般の方々の参加は限定的なものでした。地域会や支部主催の卒業設計・課題設計競技、子供ワークショップ、JIAトークなどでは多くの市民を巻き込んだ活動をしています。これら普段の活動、特に市民参加の活動を支部で情報集約して社会に発信するのが今年のアーキテクト・ガーデンです。ツールとしてはフライヤー、Facebook、支部ウェブサイトを利用し、アーキテクト・ガーデンはJIA活動情報の場所(クラウド)として設定します。6月末には基調セミナー及びレセプションパーティーを開催し、参加した地域会、委員会、部会のメンバーの交流、懇親の場とします。この機会に他の地域会が行っている活動の実行や全く新しいイベント(例えば Open! Architecture)を企画しても良いです。ぜひ、市民の身近にいる建築家の活動を知ってもらう機会として活用してください。

### 支部長活動報告

- 6日 建築会館で新年交礼会が開催される。日本建築学会、日本建築家協会、東京建築士会の三会による恒例行事で、2011年中に国より栄誉を受けられた方へ祝意を表する場でもある。
- 12日 規定類検討特別委員会 会員種別・会費規定WGを開催する。昨年12月の理事会で協議が始まっている。理事会で出た意見を取り入れた案を作成し検討。
- 13日 今日は支部常任幹事会に始まり「新春の集い」～懇親会が続き、一日JIAだ。「新春の集い」第1部の前半は、2年前の「新春の集い」で始まった連続職能シンポジウム第8回として、これまでのシンポジウムを振り返った話を織り交ぜながら、社会における建築家の役割を総括した。弁護士の竹川先生、作家の山岡先生にもご登壇頂き芦原会長のコーディネートでシンポジウムを進めた。社会資産として建築を長く使い続けるという未来像を考える時、市民が求めている建築家の姿、役割は色々な分野に進出していく姿であり、建築基本法の制定は大事だ。弁護士、医師と比較した時、

- 弁護士は業務法がセットで整備され自治権が担保されており、医師は医師会が業務自治の役割を担っている。建築士は資格法で業務独占を与えて野放しと言うところに問題がある。他団体とも連携して制度改革の提言を進めると同時に市民の理解を深める事が大事だ。TPP、FTA が議論され、サービス業の国際化も現実の物になりつつある。建築家の資格制度も2国間協議の場に晒されることでより明確になるだろう。シンポジウムに続けて芦原会長による JIA のビジョンが語られ、シンポジウムで投げかけられた課題に対して一定の方向性を提示された。第2部は新年交礼会で、賛助会員を含めた多くの参列者が出席し、寿司の出前を始めとした料理と酒を楽しんだ。
- 16日 資格制度委員会が開かれる。他会との協議を本部と平行して支部、地域会で他団体単位会と協議する方針が協議された。運用マニュアル、資格制度の広報について協議された。
- 17日 午前中、災害対策本部支援活動報告書について方針を確認する。昼より2012JIA 横浜大会学術・運営 WG 開催。基調講演者について協議する。大会で予定される各種プログラムについて協議する。夕方から大会実行委員会開催。レセプションパーティー会場について承認される。今年の大会は式典、基調講演を神奈川県民ホールで行い、展示、セミナーはメイン会場の Bank Art で開催する。レセプションパーティーは横浜ニューグランドホテルのメインバンケット+サブバンケットとし、2会場に挟まれ山下公園に面するフォワイエも使って回遊し、横浜の夜景を楽しみながらの懇親会を開催する予定。山下公園、横浜ニューグランドホテル共に関東大震災復興の象徴として市民に親しまれている場所だ。
- 18日 国際委員会が開催される。中国建築家協会(ASC)との基本協定書が中国からサインされて届いた。UIA 東京大会を契機にアジア、アフリカ等協定を結ぶ機会が増えている。今までの協定国との関係は国際交流が主であるが、中国からは実務的な関係も期待されている。JIA の国際戦略は今までのような個人的人脈に頼った交流から組織的で実質的な実務に向けて動く時期に来ている。若い建築家にとって国際事業のプラットフォームになるような関係を海外建築家団体と間で構築していく必要がある。東京都建築士事務所協会の新春交礼会に出席する。
- 20日 神奈川三会合同新春賀詞交歓会に出席する。神奈川では JIA 神奈川地域会、神奈川建築士会、神奈川県建築士事務所協会の三会合同で新春の会を開催しており、例年通り黒岩神奈川県知事が祝辞を述べられた。横浜から市ヶ谷に移動し、日本建築構造技術者協会(JASCA)の賀詞交歓会に出席する。
- 24日 朝から規定類特別委員会の WG と WG 合同委員会が開催される。アソシエート会員の種別について、アーキテクト会員になれる会員(又は近い将来な

- れる会員)をシニア会員、準会員とし、アーキテクト会員になれない会員を専門会員、協力会員、とに整理した。午後からは第197回本部理事会が開催される。東京都低価格入札問題について議論を交わした。極端な低額による入札が行われ大変残念なことであるが、最低制限価格の設定などにも改善を申し入れている。中国との基本協定締結の報告をし、承認される。現在国際活動補助として15万円/件の補助金がでているが、具体的に交流を持っている支部からは増額の要望がある。
- 25日 支部交流委員会グループ長会議に参加する。現在は正会員に所属する技術系の新入会員は、新定款ではアソシエイト会員となる。賛助会員からは技術系の委員が必要とされている。正会員がもっと出れば活性化することは明らかだ。委員のバランス、任期については、委員会規定で交流委員会の特例措置を設けることを説明する。賛助会企業数も半減している現在、A～Gまでであるグループの統廃合も検討し、交流委員会がより活性化する方法を検討することにする。
- 26日 JIA 横浜大会学術・運営WGを開催。「市民と共に」をテーマに議論する。11月末の大会までの期間に一般社会への仕掛けをすることが重要だ。前振りアナウンスを大会当日に繋げる手法を探る必要がある。その後、アーキテクト・ガーデン実行委員会が開催される。
- 27日 世田谷地域会例会に参加する。小学校の「居ながら改修事業」を区に提案する。現在の世田谷区長は地域会主催のシンポジウムに出席していただくなど、JIAの活動に好意的な印象を持って頂いている。6月のアーキテクト・ガーデン月間でいくつかのイベントを企画することを話し合う。
- 30日 国際交流基金運用委員会にオブザーバー参加する。3月のJOB解散に伴う様々な移行資産の取扱いを協議する。

支部長活動報告 2012年1月

2012年2月5日作成 上浪 寛



「一万人の建築家展」 <http://www.10000architects.com/>